

購買業務のプラットフォーム

設備機械調達先の評価基準

設備機械の調達先評価基準	
評価項目	評価基準
品質管理	品質管理の体制、品質管理の担当者、品質管理の記録、品質管理の改善活動
納期管理	納期管理の体制、納期管理の担当者、納期管理の記録、納期管理の改善活動
アフターサービス	アフターサービスの体制、アフターサービスの担当者、アフターサービスの記録、アフターサービスの改善活動
価格競争力	価格競争力の体制、価格競争力の担当者、価格競争力の記録、価格競争力の改善活動
技術力	技術力の体制、技術力の担当者、技術力の記録、技術力の改善活動
経営力	経営力の体制、経営力の担当者、経営力の記録、経営力の改善活動
信用力	信用力の体制、信用力の担当者、信用力の記録、信用力の改善活動
環境対応	環境対応の体制、環境対応の担当者、環境対応の記録、環境対応の改善活動
社会貢献	社会貢献の体制、社会貢献の担当者、社会貢献の記録、社会貢献の改善活動
その他	その他



一般社団法人 日本資材管理協会

URL :<http://www.jimma.gr.jp>

E-MAIL :info_jimma@jimma.gr.jp



設備機械調達先の 評価軸

evaluation concept

安いからだけでは・・・

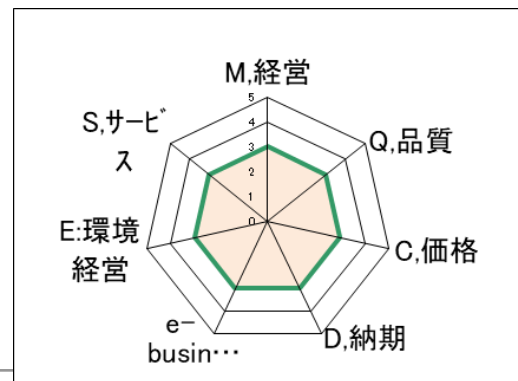
高生産性・保守安全を担保できるか・・・

品質確保・最適化調整など 間違いないか・・・

何を評価するのか？

評価軸
項目は

- M: 経営
- Q: 品質
- C: 価格
- D: 納期
- e: 電子取引
- E: 環境
- S: サービス





設備機械調達先の 評価シート構成

Excel architecture

見える化
(強み弱み)

会社名・ID

評価軸
評価項目

評価点

配点
(項目の重み)

判定基準(1~5)

合計点

会社の特徴		設備機械の調達先評価基準					2022/8/22	V1.0	20621	A
		会社名		会社概要		承認	作成			
		統一企業コード		材質類別コード						
		60		評価合計点数		<small>取引先と当社が一緒に話し合いながら認識・納得して評価する。 数値で評価する項目は実績データを表示して行う。各項目毎に評価し、M,Q,C,D,S,E各毎に判断して総合評価する。 評価値2.1がある場合は改善要請する。この評価は取引先に対して1回/年実施する。</small>				
		ISO9000 認証		評価事業部、工場						
		ISO14000認証								
no.	評価項目	5	4	3	2	1	項目 評価点	合計 点数	特 徴 配点	
M	Management (経営将来性)	5段階評価の判断基準					9.0	3	15	
*1	1 Management policyが明確か? 2 経営者、事業責任者は意欲的か? 3 財務内容は健全か?(金融債務・自己資本) 4 当社へのビジネス姿勢 5 後継者、人材育成がされているか?	policyを明示、徹底 かなり意欲的 良い状態にある 非常に積極的 優れている	policyを明示、 意欲的 健全である 積極的である 良い	policyを提示 積極的 利益は出ている 協力的である 普通	policyはあるが... 行動的ではあるが... 欠損 やや協力的 やや劣る	policy不明確 消極的 累積あり 問題もある 非常に劣る	3 3 3 3 3	9.0	3	
*2	Q Quality assurance (品質) (Q1項目は下記の3つの中から1項目のみ選択評価) 1 ISO9000 認証されているか? 又は "工場品質審査"に合格しているか? 又は "工程管理項目と実施レベル" 2 納入品の品質実績は良いか? 3 不良対策の対応は良いか?	ISO9000 認証済 "優良"で合格 適切、周知徹底 不良率 0.01%未満 優れている	ISO9000 認証済 "良"で合格 適切おおむね良好 不良率 0.03%未満 良い	1年以内に計画あり "要改善"で合格 一部不備、必要最小限 不良率 0.05%未満 普通	認証の計画あり "不合格" 一部不備、不足 不良率 0.1%未満 やや劣る	認証の計画無し "不可" 不備多い、無管理状態 不良率 0.1%以上 非常に劣る	3 3 3 3	9.0	3	
C	Cost reduction ability (価格) 1 コストダウン協力実績 2 Cost競争力が優位か? 3 生産効率、品質向上への投資しているか? 4 特徴ある技術を有しているか?	5%以上	3~4.99%	2~2.99%	1~1.99%	0.99%以下	3 3 3 3	18.0	3	
D	Delivery service (Logistics) (納期) 1 仕様打合せから納入までの管理 2 契約納期は守られているか? 3 生産管理のレベルが適切か? 4 仕様変更への対応・協力	プロシット・マネジメントで 納期達成率99%以上 非常に良く管理している 優れている	よく管理されている 納期達成率98%以上 管理の仕組みがある 良い	スケジュール管理できる 納期達成率96%以上 管理されているが... 普通	不十分だができる 納期達成率90%以上 キーン頼りの管理 やや劣る	問題ある 納期達成率90%未満 現場を探すレベル 非常に劣る	3 3 3 3	12.0	3	
e	e-business activity (電子商取引) 1 e-business 積極的に取組んでいる 2 CAD情報の 交換が可能か?	積極的に取組展開 3D-CAD 交換可能	EDI 各社と取組中 CAD交換可能	EDI 一部対応可能 制約内で 交換可能	EDI 計画有り 計画あり	EDI 計画なし 計画なし	3 3	3.0	3	
E	Environment (環境経営) *3 1 グリーン調達からプラに準拠しているか? 2 環境設計討議対応 3 産業廃棄物管理しているか	認証済 積極的に取組 4R設計充分 ゼロ・エミッション対応	ISO14000認証済 3R設計対応 よく管理している	認証済 積極的に取組 3R設計対応 普通	計画は があるが、 部分的に対応可 部分的に対応している	計画なし 対応不可 殆ど管理していない	3 3 3	3.0	3	
S	Technology Service and Solution (サービスなど特別評価) 1 技術革新の水準 2 設備のハフォーマンス技術力 3 保守点検の容易な設計 4 操作の無人化やIOT対応 5 その他のサービスの評価	基礎研究など充実 業界のリーダー的存在 非常に 優秀	技術サービス積極 高いレベル	基礎研究など充実 平均的	少しサービスあり やや劣る	技術情報無し 人員少く投資なし 良くない 人員少く投資なし 非常に劣る	3 3 3 3 3	6.0	3	
<small>*1 危機管理マニュアル、帝国データバンクにより評価、*2 別規定の Cop</small>							60.0	3	100	



設備機械調達先 評価の進め方

事前説明

評価の準備・日程調整 (視たり聴いたり)

事前評価依頼、自己申告 ……E-mail

現場でわかること ……現地工場

インタビューでわかること ……会社訪問

信用調査会社でわかること ……ネット

決算書などでわかること ……資料

取引実績でわかること ……実績データ

評価の測定・判断の基準 (点数をつける)

評価基準 点数(5段階) 配点(重み)

判定基準 項目ごとに 何がどのようななら何点か?

取り組み 実績や現場の実態・組織体制



評価軸と項目 M:経営 Q:品質

評価軸ごとに項目を選ぶ、
網羅すれば良いとは限らない

M: 経営力

安全性・・・自己資本比率、有利子負債、キャッシュフロー
収益力・・・売上高利益率、1人当り生産高、資産回転率
社会性・・・法令遵守CSR、企業統治、社会貢献
その他・・・経営者資質・後継者、グローバル化、脱下請け

Q: 品質力

品質マネジメントシステム・・・ISO認証
品質実績・・・受け入れ検査合格率、クレーム
取り組み・・・品質方針、品質目標、人的資源・教育
その他・・・顧客重視、内部監査、



評価軸と項目 C:価格 D:納期

評価軸ごとに項目を選ぶ、
網羅すれば良いとは限らない

C: 価格競争力

原価企画力・・・原価管理システム、コスト見積システム
VE実施力・・・VE提案、ノウハウの蓄積共有
コストダウン・・・協力実績、見積コストレベル
その他・・・共同VE・TD、海外生産

D: 納期管理力

効率的生産力・・・生産管理システム、再下請け
量的対応力・・・JIT対応、需給変動対応
納入実績・・・納期達成率、緊急品対応
その他・・・多能工、契約納期遵守



評価軸と項目 E:環境 e:DX S:サービス

評価軸ごとに項目を選ぶ、
網羅すれば良いとは限らない

E: 環境経営力

ISO14000認証、グリーン調達対応

有害物質不使用

4R・・・Reuse, Reduce, Recycle, Refuse

e: 電子対応力

DX・・・生産管理データリンク、電子見積・回答、
CAD/CAM交信、シミュレーション解析

S: サービス力

技術サービス・・・コスト・品質の作り込み連携

情報提供・・・業界情報、海外政情、技術ロードマップ

協調研究・・・共通化・標準化、オンサイト・サービス



設備機械調達先評価 配点の確認(年度方針で)

会社の特徴		設備機械の調達先評価基準					2022/8/22	V1.0	20621	A
		会社名	会社概要		承認	作成				
		統一企業コト								
		60	評価合計点数	ISO9000 認証						
				ISO14000認証						
no.	評価項目	5	4	3	2	1	項目合計 点数	特 点		
M	Management (経営 将来性)						3	15		
	1 Management policyが 明確か?	policyを明示、徹底	policyを明示、 意図的	policyを明示	policyを明示 積極的	policy不明確	3			
	2 経営者、事業責任者は 意欲的か?	かなり意欲的			消極的 行動的ではあるが、 益は出ている 力力的である	問題もある 非常に劣る	3	0.80		
Q	Quality (品質)						9.0	3	15	
	1	年以内に計画あり 要改善で合格	認証の計画あり "不合格"	認証の計画無し "不可"			3			
	2	一部不備、必要最小限 不良率 0.05%未満	一部不備、不足 不良率 0.1%未満	不備多い無管理状態 不良率 0.1%以上			3	1.00		
	3	不適	やや劣る	非常に劣る			3			
C	Cost (コスト)						18.0	3	30	
	1	~2.99%	1~1.99%	0.99%以下			3			
	2	Cost改善取組可 投資はしている	CO取組 積極的 再投資困難	Cost高く改善困難			3			
	3	自主改善能力ある	改善打合わせ可能	設備老朽化 回函指示で製作			3	1.50		
D	Delivery (納期)						12.0	3	20	
	1	スケジュール管理できる 納期達成率96%以上	不十分だができる 納期達成率90%以上	問題ある 納期達成率90%未満			3			
	2	管理されているが、 不適	キーマン頼りの管理 やや劣る	現場を採すレベル 非常に劣る			3	1.00		
E	Environment (環境)						3.0	3	5	
	1	対応可能 約内で交信可能	対応可能	対応可能			3			
	2						3			
	3						3			
S	Service (サービス)						6.0	3	10	
	1	対応可能					3			
	2	世界の平均的					3			
	3	世界の平均的					3			
	4						3			
	5 その他のサービスなどの評価	優れている	良い	普通	やや劣る	非常に劣る				
				合計			60.0	3	100	

評価軸ごとの配点設定

配点 重み付けの例

	例 1	例 2	初期値
M	15	10	15
Q	15	30	15
C	30	20	30
D	20	20	20
E	5	10	5
e	5	5	5
S	10	5	10

配点合計 100 確認



設備機械調達先の評価シート 記入手順 ①②

		会社名	会社概要				作成			
		統一企業コード								
		60	評価合計点数							
			ISO9000 認証							
			ISO14000認証							
		5段階評価の判断基準								
no.	評価項目	5	4	3	2	1	項目評価	合計点数	特配点	
M	Management (経営将来性)							9.0	3	
	1 Management policyが明確か?	policyを明示、徹底	policyを明示、意欲的	policyを提示	policyはあるが、積極的	policy不明確	3			
	2 経営者、事業責任者は意欲的か?	かなり意欲的	意欲的	積極的	行動的ではあるが、	消極的	3			
*1	3 財務内容は健全か?(金融債務・自己資本)	良い状態にある	健全である	利益は出ている	欠損	累積あり	3		0.80	
	4 当社へのビジネス姿勢	非常に積極的	積極的である	協力的である	やや協力的	問題もある	3			
	5 後継者・人材育成がされているか?	優れている	良い	普通	やや劣る	非常に劣る	3			
Q	Quality assurance (品質) (Q1項は、下記の3つの中から1項目のみ選択評価)							9.0	3	
	1 ISO9000 認証されているか?	ISO9000 認証済	approach中	1年以内に計画	“要改善”	未計画	3			
*2	2 又は“工場品質審査”に合格しているか? 又は 工程管理項目と実施レベル	適切、周知徹底	適切、おおむね良好	一部不備あり	管理状態不明	未実施	3		1.80	
	3 納入品の品質実績は良いか?	不良率 0.01%未満	不良率 0.03%未満	普通	劣る	非常に劣る	3			
	3 不良対策の対応は良いか?	優れている	良い	普通	劣る	非常に劣る	3			
C	Cost reduction ability (価格)							18.0	3	
	1 コストダウン協力実績	5%以上	99%	2~2.99%	1%以下	未達成	3			
	2 Cost競争力が優位か?	優位	普通	劣る	非常に劣る	未評価	3			
	3 生産効率・品質向上の取り組み	積極的	普通	劣る	非常に劣る	未評価	3		1.50	
	4 特徴ある技術・ノウハウの活用	優れている	良い	普通	劣る	非常に劣る	3			
D	Delivery service							12.0	3	
	1 仕様打合せ	迅速	普通	劣る	非常に劣る	未評価	3			
	2 契約納期は守られているか?	90%以上	80%以上	70%以上	60%以上	50%未満	3			
	3 生産管理のレベル	現場を深すレベル	現場を深すレベル	現場を深すレベル	現場を深すレベル	現場を深すレベル	3		1.80	
	4 仕様変更への対応・協力	積極的	普通	劣る	非常に劣る	未評価	3			
e	e-business activity (電子商取引)							3.0	3	
	1 e-business 積極的に取り組んでいる	積極的に取組展開	ED1 各社と取組中	ED1 一部対応可能	ED1 計画なし	ED1 未計画	3			
	2 CAD情報の交換が可能か?	3D-CAD 交換可能	CAD交換可能	制約内での交換	交換不可	未評価	3		0.5	
E	Environment (環境経営)							3.0	3	
*3	1 グリーン調達プラットフォームに準拠しているか?	認証済積極的に取組	ISO14000認証済	認証済	認証済	未評価	3			
	2 環境設計討議対応	4R設計充分	3R設計対応	2R設計対応	1R設計対応	未評価	3			
	3 産業廃棄物管理しているか	ゼロ・ビジョン対応	よく管理している	普通	劣る	非常に劣る	3		0.23	
S	Technology Service and Solution (サービスなど特別評価)							6.0	3	
	1 技術革新の水準	基礎研究など充実	技術サービス積極的	普通	劣る	非常に劣る	3			
	2 設備のパフォーマンス技術力	業界のリーダー的存在	高いレベル	普通	劣る	非常に劣る	3			
	3 保守点検の容易な設計	非常に優れている	優れている	普通	劣る	非常に劣る	3		0.40	
	4 操作用の無人化やIoT対応	業界のリーダー的存在	高いレベル	普通	劣る	非常に劣る	3			
	5 その他のサービスなどの評価	優れている	良い	普通	劣る	非常に劣る	3			
*1 危機管理マニュアル等顧客データバンクにより評価。*2 別規定の品質審査基準により評価。*3 別規定、グリーン調達プラットフォームにより評価。							合計	60.0	3	
Copyright Kimitoshi Yagi : Procurement Innovation Research							項目評価の黄色印欄に数字を入力すると集計され、radar chart graphが生成されます。			

① 会社名 ID

② 評価点数記入

② 評価判定基準参照して判断

② 点数記入全項目



設備機械調達先の評価シート 記入手順 ③

会社名		会社概要		承認	作成
統一企業コード		材質類別コード			
60	評価合計点数	取引先と当社が一緒に話し合いながら課題・納得して評価する。			
	ISO9000 認証	数値で評価する項目は業種別を提示して行う。各項目毎に評価。MOCDSE等に照準して総合評価する。項目評価の黄色印は、改善要請する。この評価は取引先に対して1回/年実施する。			

No.	評価項目	項目のみ選択評価	項目	合計 評価	特 点	配 点			
M	Management (経営将来性)		1	3	0.3	1.5			
*1	1 Management policyが明確か?	不明確	3	3	0.80				
	2 経営者、事業責任者は意欲的か?	消極的	3	3					
	3 財務内容が健全か?(金融債務・自己資本)	累積的	3	3					
	4 当社へのビジネス姿勢	問題もある	3	3					
	5 後継者人材育成がされているか?	優れた	3	3					
Q	Quality assurance (品質) (Q1項は下記の3項目のみ選択評価)		1	3	3	1.5			
*2	1 ISO9000 認証されているか?	approach中	1年以内に計画あり	3	1.00				
	2 又は「工場品質審査」に合格しているか?	「優良」で合格	「要改善」で合格	3					
	3 又は「工程管理項目と実施レベル」	適切/周知徹底	適切/おおむね良好	3					
C	1 コストダウン協力実績	5%以上	3~4. 99%	3	1.80				
	2 Cost競争力が優位か?	Cost競争力優位	Cost競争力あり	3					
	3 生産効率品質向上の投資しているか?	業界先端の投資	投資はしている	3					
D	Delivery service (Logistics) (納期)		1	3	3	1.00			
e	1 e-business 積極的に取り組んでいる	積極的に取組展開	EDI 各社と連携	3	0.75				
	2 CAD情報の 交信が可能か?	3D-CAD 交信可能	CAD	3					
	E	Environment (環境経営)		1			3	3	0.33
	*3	1 グリーン調達ガイドラインに準拠しているか?	認証済積極的	4R設計充分			3	0.40	
2 環境設計計画対応		ゼロ・エミッション対応		3					
3 産業廃棄物管理しているか?				3					
S	Technology Service and Solution (サービスなど特別評価)		1	3	3	1.0			
	1 技術革新の水準	基礎研究など充実	技術サービス	3	0.40				
	2 設備のパフォーマンス技術力	業界のリーダー的存在	高いレベル	3					
	3 保守点検の容易な設計	非常に優れている	優れている	3					
	4 操作の無人化やIOT対応	業界のリーダー的存在	高いレベル	3					
	5 その他のサービスなどの評価	優れている	良い	3					
③ 評価点・スコア 確認									

③ チャートにリンク (強み・弱み)

③ 評価点・スコア 確認

Copyright Kimitoshi Yagi : Procurement Innovation Research

FEB23,2003 F

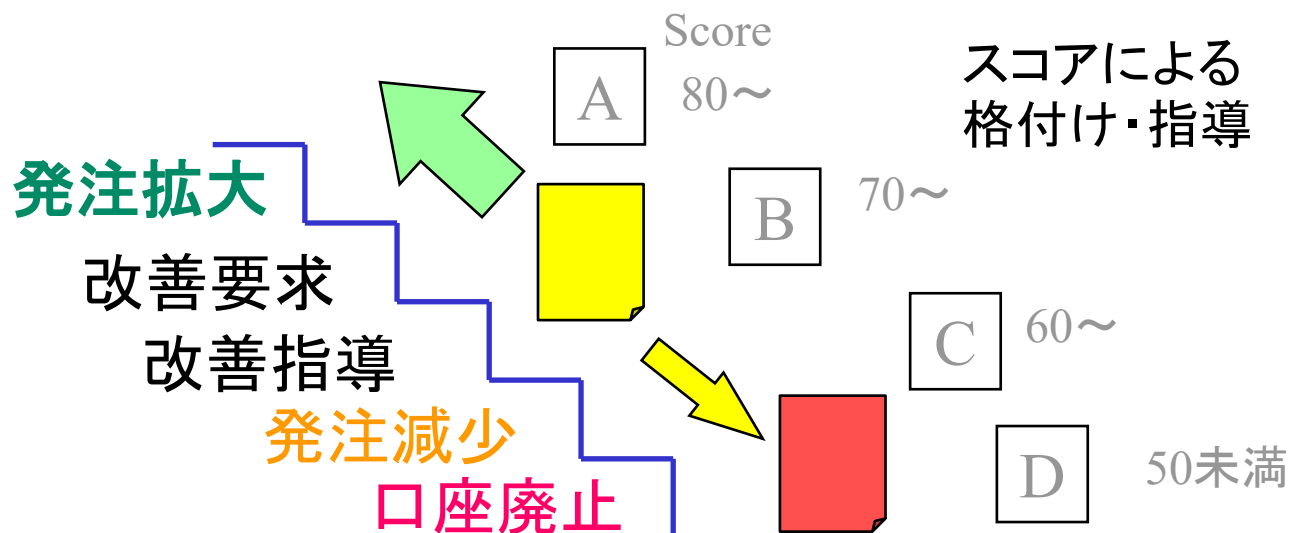
10



評価結果の説明・討議・対策

結果説明

調達先トップへの説明
問題・課題の明確化・共有化
評価結果による 今後の戦略対応・対話
改善点の認識と改善の継続性





設備機械調達先の評価シート まとめ

サプライヤとの“共益協創”のために！

1. 購買部門のミッションを実現するために
評価は手段、連携でお互いの利益協創が目的
2. 評価システムとして活用・継続が大切
購買戦略やサプライヤ再編成、サプライヤ別方針への運用
3. サプライヤ自身で定期的に評価をやっていただく、
セルフ・マネジメント(自律成長)に期待